

2022年度 第7回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2022年10月31日(月) 18:30~19:20

2. 形態 Zoom 会議

3. 出席者

【幹事】眞田 克典(東京理科大学・事務局長)、池田 賢市、高木 雅史(中央大学・事務局次長)、大島 真夫(東京理科大学)、山本 智子(国立音楽大学)、安藤 真聡(慶應義塾大学)、後藤 正矢(多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理(武蔵野美術大学)、長嶺 宏作(帝京科学大学)、瀬川 大(日本女子体育大学)、河村 久、田中 直樹(聖徳大学)、吉田 真理子(洗足学園音楽大学)、山崎 真之〔遠藤 克弥代理〕、堀井 英一(東京国際大学)

【事務担当】常盤 朋子(東京理科大学)

【オブザーバー】高瀬 幸恵、岩井 瑞恵、黒岩 友見子(桜美林大学)、上條 努(東京理科大学)

【審議事項提案者】岡明 秀忠(明治学院大学・第6部会副部会長)

4. 協議

〔報告事項〕

(1) 研究部の活動について

○部会の活動について

- ・第1部会：10月7日(金)に18時から懇親会を兼ねた第2回の部会をオンラインで開催し、23名の参加があり、盛会であった。
- ・第2部会：10月29日(土)11時から第3回の部会を開催し、自己点検評価で各校の実情を報告し情報交換を行った。次回は12月頃に懇親会を兼ねた部会を開催予定である。
- ・第3部会：第3回の部会を10月22日(土)16時から開催し、杏林大学と清和大学について事例を報告いただき、全私教協から育英大学の滝沢先生にもオブザーバー参加いただいた。21名の参加があり、活発な質疑応答と意見交換を行った。
- ・第4部会：次回は2023年1月7日(土)に部会を開催予定である。
- ・第5部会：第3回部会は11月26日(土)15時から、特別支援教育に関わる取組状況及び対応についてオンラインで開催予定である。
- ・第6部会：都道府県および政令指定都市の教育委員会を対象としたアンケート調査の準備をしており、教員採用試験における適性検査の取扱いやトランスジェンダーの受験生に対する配慮の有無についても追加で調査する方向である。
- ・第7部会：次回の部会を11月18日(金)18時から、「東京家政学院大学の教職課程(仮)」についてオンラインで開催予定である。
- ・第8部会：今後の部会開催について検討する予定である。

○地域の活動について

- ・千葉・茨城地域部会：第2回研究会を1月末~2月上旬に開催する方向で、講師に打診中である。内容は「教員養成の国際動向と我が国の課題」をテーマとして検討している。
- ・神奈川・山梨地域部会：来年2月に研究会を実施する方向である。

- ・北部地域部会：12月～1月に研究会を開催予定である。埼玉県内で特別支援学校へ教員として配属されるケースが増えている現状について、埼玉県教育委員会からご説明いただく方向で調整している。

(2) 『会報』第92号の編集について

吉田広報部長から、『会報』第92号(12月1日発行)の執筆作成について、当初のスケジュールどおり順調に進んでいるとの報告があった。

〔審議事項〕

(1) 第6部会によるアンケートについて

第6部会世話人の伊東幹事および岡明副部長から、資料1に基づき、教員採用試験における適性検査に関する実態調査について倫理審査の提案があり、一部文言についての表現を第6部会で再度検討した上で、実施することを承認した。

アンケートは11月中に47都道府県及び20政令指定都市の教育委員会へ送付し、年度内に第6部会で分析して報告書を完成させる旨の説明があった。

(2) 2022年度研究懇話会について

山本研究部長から、資料2に基づき、12月10日(土)にオンラインで開催予定の2022年度研究懇話会について、事務局より講師依頼状を送付する旨の提案があり、原案どおり承認した。

(3) 2023年度定期総会・合同研究大会の日程について

眞田事務局長から、資料3に基づき、2023年度定期総会および合同研究大会の日程について提案があり、原案どおり承認した。今後、2023年度実施責任団体である東教協事務局に打診することとした。

【配付資料】

資料1：第6部会によるアンケートについて

資料2：関私教協2022年度研究懇話会のご案内

資料3：2023年度 関私教協定期総会日程案

以 上